



「死んだ子の年を数える」からの…

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉 哲哉

「死んだ子の年を数える」というのは、辞書によると「死んだ子供が生きていればいくつになっていたのに…と、どうしようもない過去のことを悔やんであれこれ言うこと」とあります。つまり、いつまでくよくよと考えていても解決しないことに囚われて、前向きになれない状態を指しているのです。

事故や災害、病気などに限らず、不幸なことに大切な家族や愛する人を失ってしまい、残されたものが希望を見出すこともできず長きにわたって悲しみに暮れているのには心が痛みます。このように辛いときや悲しいときには「頑張れ」「前向きに生きろ」と励まされることも有り難いのですが、「大変でしたね」「頑張らなくてもいいよ」「辛いときには泣いてもいいですよ」と静かに寄り添い共感することも大切だとされています。よかれと思って励ますことが、プレッシャーとなって追い込んでしまう場合もあるからです。

ところで、この「死んだ子の年を数える」を前向きに捉えることはできないのでしょうか。たしかに、過去の悲しいできごとは残念ながらどうしようもありません。ただ、なぜこうなったのか、どのようにしたからこうなったのかを問うことは、悲しいできごとを防ぐにはどうすればよいか、失うものを減らし、痛みを軽くするにはどうすればよいかを考えることに通じるはずです。

1.17、3.11、4.16、7.6、9.4 など多くの人びとが亡くなったり家を失ったりした大きな災害については、これらの日が近づくと追悼の式典が催され、防災講座や避難訓練の様子が報道されます。追悼の日は、振り返ってこんなことがあったと思い出すだけの日ではありません。これからどうするべきかを考えましょうという、前向きな呼び掛けに他ならないのです。

「南海トラフを震源とする巨大地震は20年以内に60%の確率で発生する」といわれています。さて、あなたは災害に備えていますか、それとも自分はきっと助かるから備えなくても大丈夫だと安心していませんか。



ひとくちメモ

神戸国際大学「防災救命クラブ DPLS」(Disaster Prevention and Life Saving Club) はリハビリテーション学部の学生が中心になって活動する学生団体です。

メンバーは神戸市消防局公認の市民救命士救急講習インストラクターの資格を取得し、本学教職員で構成される「防災*救命サポートチーム」と合同で開催する心肺蘇生・応急手当の救急講習で指導にあたるほか、学外の施設や自治会などからの要請に応じて、防災教室や救急講習などを行っています。

また、学生・教職員のなかには消防団に加入しているメンバーもあり、広く地域の防災・防火に貢献しています。



ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページ

